

NPO 職員の方、大募集!!

「協働による政策づくり研修」

- ◆参加費無料
- ◆交通費を実費支給
- ◆年齢不問

主催 兵庫県自治研修所

地域課題の解決策を自治体職員と一緒に楽しく考えませんか？

ワークショップを通して、NPO等地域活動に取り組まれている方、県、市町職員等、多様なメンバーがアイデアを出し合い、刺激し合いながら、協働による政策づくりを体感できます。NPO職員の皆さんの多数の参加をお待ちしております！



こんな方におすすめ！

- ◇ 協働による課題解決力の向上を図りたい！
- ◇ 活動内容を広めたい！
- ◇ 行政・他NPOとのネットワークを作りたい！
- ◇ ファシリテーション能力の向上を図りたい！



受講者の声

- ◇ 普段話す機会のないメンバーと、1つのものをつくり出すプロセスが発見の連続だった。
- ◇ NPOと行政が互いのことを知るきっかけとなり、新しい視点を持つことができた。
- ◇ 多彩なメンバーと交流でき、刺激が多かった。

会場

JR元町駅から徒歩約10分

兵庫県自治研修所

〒650-0004 神戸市中央区中山手通6-1-1 (生田庁舎 4階) ☎ 078-977-8844

日程 令和3年12月13日(月)、14日(火)

1 日 目	9:30 OR	10:00 協働と連携の意義 (1.5h)	11:30 昼食 (1h)	12:30 協働による政策形成の事例研究 (5.0h)	17:30	事務 連絡 閉 講
2 日 目	9:30	協働ワークショップによる政策形成演習 (7.0h)		12:30 昼食 (1h)	13:30 同左	

カリキュラム

協働と連携の意義

行政、住民、NPO、大学等の各主体による協働や連携の意義を学ぶとともに、それぞれに求められる役割を認識する。

【内容】

- ・社会環境の変化
- ・協働・連携の意義
- ・各主体に求められる役割

兵庫県立大学教授 内平 隆之

兵庫県立大学環境人間学部 エコ・ヒューマン地域連携センター センター長代理、同大学准教授を経て、平成28年10月、同大学地域創造機構教授に就任。

神戸大学工学部在学中に阪神・淡路大震災を経験して以来、地域連携による地域プロジェクトを実践。その経験やノウハウをいかし、大学と地域をつなぐ地域連携の仕組みづくりを研究。兵庫県立大学では副専攻「地域創生人材教育プログラム」の開発を担当。

(裏面もご覧ください)

協働による政策形成の事例研究

先進事例から、課題解決のための、協働による政策づくりのプロセスや、実施にあたってのポイントを理解し、必要とされる手法を学びます。

【内容】

- ・民間企業等、多様な主体との協働先進事例の紹介
- ・多様な担い手による協働の場づくり
- ・協働による政策形成のプロセスとポイント

(特非)プラス・アーツ理事長 永田 宏和

企画・プロデューサー。株式会社iop 都市文化創造研究所代表、NPO 法人プラス・アーツ理事長、デザイン・クリエイティブセンター神戸【KIITO】センター長。現在、「+クリエイティブ」をコンセプトに、防災や福祉、まちづくりといった様々な分野の社会課題解決に取り組む。主な企画・プロデュースの仕事に、都市キャンペーン型アートイベント「水都大阪 2009・水辺の文化座」、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」(2005年～)、子どもがつくる子どものための夢のまち「ちびっこうべ」(2012年、2014年、2016年、2018年)、などがある。TBS「情熱大陸」、日本テレビ「世界一受けたい授業」出演。

協働ワークショップによる政策形成演習

ワークショップを通じて、協働による政策手法を習得し、課題解決力の向上を図ります。

(一社)つながりのデザイン

代表理事

船木 成記

(特非)edge 専務理事

(公社)チャンス・フォー・チルドレン 理事

(特非)ブレンヒューマニティー顧問

能島 裕介

1964年生まれ、東京都出身。社会課題の社会化、およびその解決を目指すソーシャルマーケティングが専門。手がけている分野は、公衆衛生&社会福祉、社会教育、まちづくり、男女共同参画、環境、ソーシャルビジネス支援、長期実践型インターンシップ等。また、環境分野、ダイバーシティ分野、SDGs 関連でも講演等を行なっている。

(株)博報堂在職時には、環境省の「チームマイナス6%」や内閣府の「カエル！ジャパン(ワークライフバランスに関する取り組み)」等をプロデュースするなど、社会課題解決に向けて、様々なステークホルダーが対話を通じて共有した目標の実現に向け、協働型のプロセスデザインに長年取り組んできた。2007年から2年間、内閣府男女共同参画局政策企画調査官、2012年より尼崎市顧問(現在も継続)、また、2017年より2020年度まで長野県参与(信州総合ブランディング担当)を務めた。現在は(一社)つながりのデザインを設立し、自治体の政策的ブランディング、内発的なシティプロモーション、総合計画等の策定、および行政職員の力量形成支援等を行なっている。

神戸市生まれ。関西学院大学在学中に阪神・淡路大震災で被災した子ども達の支援活動に従事。大学卒業後、株式会社住友銀行に入行。

同行を退職後、学生時代に行っていた活動をNPO法人化し、NPO法人ブレンヒューマニティー理事長に就任。2017年12月に理事長を退任し、顧問に就任。

同法人では950名以上の大学生ボランティアを主体としながら青少年を対象にした野外活動、国際交流活動、不登校支援活動、子どもの貧困支援活動などを展開。

現在、尼崎市理事、尼崎市教育委員会事務局参与、尼崎市学びと育ち研究所副所長、NPO法人edge 専務理事、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン理事なども務める。

参加申込書

【申込期限 11月26日(金)】

FAXまたはEmail、QRコードのいずれかによりお申し込みください。

申し込み用QR

団体名

【申込先】

FAX 078-977-8853

Email hiroki_takao@pref.hyogo.lg.jp



フリガナ	年齢	電話番号
氏名		Email